



雪が残っていて、子どもたちは大喜び！

今回で15回目を迎えた、小・中学生のための自然体験スクール。新小学1年生から中学3年生までの男子8名、女の子5名の合計13名と一緒に、3月26日から29日までの3泊4日で信州に行ってきました。ナビゲーターは、NPO日本高齢・退職者福祉推進協会の杉本久さん(すぎさん)、上野政男さん(うえさん)の2名と、マザーネットからは毎回参加の水谷しんさんと上田の2名、の合計4名です。それではご報告します！

1日目 子どもたち13名、アットホームな雰囲気です！

8:20 東京組が新宿を出発。東京からは、新1年生のたつひこくんとちひろちゃんに参加。二人は偶然にも同じ小学校！引率は、ベテランのすぎさん、うえさんです。

8:36 大阪組が出発。インフルエンザが流行中なので、見送りのお母さんたちに、「何型のインフルエンザに感染したか」「学校で今流行しているか」などを、詳しくお聞きしました。スクール中は、子どもたちの体調に変わったことがないか、細心の注意を払います。さて、初めて参加するのは、ゆうたろうくん(小4)と東京組の二人の計3名。リピーターの子どもたちには、スクールでの過ごし方など、いろんなことをやさしく教えてあげるように、頼みます。途中、SAで昼食を購入。参加人数が少ないので、中学生600円、小学生500円の予算で、好きなものを選んでもらいました。

13:35 伊那市に到着。ジャンボタクシーへ乗り換えます。



初参加のゆうたろうくん。大きな声で挨拶しました



すぎさんの空手道教室。本格的な指導です

14:30 国立信州高遠少年自然の家に着。例年よりかなり暖かいのですが、一週間前に降った雪がまだ残っていて、早速、雪合戦です。とても楽しそう。

15:30 今回の宿舎は、2階建てのロッジ2棟です。まずは恒例のオリエンテーション。自己紹介では、名前、住んでいるところ、学校、学年、そして「今、一番好きなこと」を話してもらいました。リピーターの子どもたちは、「うえださん、あいさつするの、やめようや。恥ずかしいもん」と言ってくるのですが、「みんなの前で自分のこと話すのは、すごく勉強になるのよ」と話しています。子どもたちは、実は大人の自己紹介がとても楽しみのよう。すぎさん、うえさん、しんさんの話は、人生経験が豊富で、味わい深いものです。私からは、「お友だちの気持ちになって考え、行動しよう！」とお話しました。慣れない環境の中で、自分のことで精一杯になりがち。でもそんな時、困っているお友だちがいたら、まず助けてあげてほしい。スクールの間は、そういう気持ちを持ち続けてほしい、ことをやさしく伝えました。

終了後は部屋へもどり自由行動。すぎさんによる空手道教室、しんさんによるスケッチ教室、体育館で卓球、ドッチボール、バトミントン。今、自分のしたいプログラムを選べます。

18:30 夕食はバイキング。新1年生の二人が、自分でお皿にとるのを、そっと見守ります。夕食後は、お部屋でゆっくり過ごします。21:00 お風呂に入って、就寝。新1年生のちーちゃん、「ママに会いたい...」とさびしくなっていました。あかりちゃん(小5)が、同じフンで添い寝してくれました。頼もしいです！

2日目 安曇野一日ツアーに出発！

7:00 起床。男の子たちは夜遅くまでトランプをしていたようで、眠そうです。

8:00 朝食。コーンフレークに牛乳をかけるのが人気です。

9:00 自然の家を出発。途中、ハケ岳と諏訪湖がきれいに見えます。

10:14 茅野駅発松本行の電車に乗車。電車のドアを手動で開けることにびっくりする子どもたち。電車の中で男の子たちは、すぎさんが持参した「数独」の本を1枚づつちぎってもらい、数字パズルを解くのに夢中です。解けたら、だんだんレベルの高い問題にチャレンジします。

10:57 松本駅着。

11:10 大糸線南小谷行に乗車。途中、左側には北アルプスがせまってきます。以前一人で乗った時に美しさに感動し、ぜひ子どもたちに見せたいと、バスではなく、電車の旅を選んだのです。しかし、みんな数独に集中して、景色を見てくれない。残念。



線路の上って、最高！



ちひろ美術館までの道は、北アルプスに向かって一直線です



車内スケッチ教室の様子。窓の景色を見ながら描くちーちゃん

11:51 信濃松川駅に到着。子どもたちが感動したのは、なんと線路でした！線路の上に寝そべり、中にはレールの上に石を並べる子も。最後は駅員さんに怒られ、退散しましたが、「線路に寝たの、初めて！」と満足そうです。私も小学校の時は、レールの上に小枝を並べて、電車を通った後にどうなっているか、を見て遊ぶのに熱中しました。思わぬところに感動してくれて、うれしかったです。駅からは、ゆっくりと安曇野ちひろ美術館の方へ歩きます。途中、小さな川があったり、道祖神があったり、とてもどかです。

13:00 30分で歩く予定のところを、1時間かかって、すずむし荘に到着。昼食は800円以内で好きなメニューを選んでもらいます。振り向くと、たつひこくん以外の男の子がいない！探すこと20分、ちひろ美術館の駐車場で、困った様子もなく、集まっていました。よかった！

14:00 女の子たちとたつひこくんと、ちひろ美術館へ。絵を見るより、おみやげを買うのに夢中です。ちひろ美術館の前は広い公園になっていて、男の子はここで遊ぶ方が楽しそうです。

14:40 再びすずむし荘に戻り、温泉入浴。電車の時間があるので、時間厳守です。1時間前には出発しようと思ったのですが、ゆっくり入浴したり、おみやげをロッカーに忘れて取りに帰っているうちに、時間がタイトに！最後は、マラソン大会状態。大きなお友だちが、小さなお友だちの荷物を持ってあげたり…。出発時間ギリギリに全員で到着。みんなでがんばったことで、一体感がうまれました。

16:19 信濃松川駅発。電車はほとんど貸切なので、スケッチ教室をすることに。テーマは「今日一番印象に残ったもの」。多かったのは、北アルプスの絵。何気なく歩きながら、自然と心に入っていたのでしょう。今でも、目をつぶると、山に向っての長い道を、子どもたちが歩いている風景が浮かんできます。

18:08 松本で乗り換え、茅野駅に到着。バスにて、自然の家に戻ります。

19:00 夕食。いっぱい走ったので、お腹が減ったようです。

20:00 毎回恒例のしんさんのマジックショー。おもしろかったかな。

21:00 入浴。

22:00 就寝。夕方から、ゆうたろうくんが発熱し、夜には38.5度に！インフルエンザが流行しており、もしそうなら、みんなに感染しないように対策を取らなければいけないので、車で1時間の伊那中央病院に走りました。検査の結果、インフルエンザは陰性。往復の車の中で、いっぱいお話をしてくれました。早く元気になあれ！



しんさんのマジックショーはいつも大人気

3日目 地元の方に、だるまの絵づけや、五平餅作りを教わって

7:00 起床。今日は雲一つなく、良い天気。まだ朝晩は冷え込み、食堂へ向かう道には、霜柱ができています。大阪や東京では珍しく、足で踏むとサクサクします。

8:00 朝食。



高島さんが描くのを、真剣に見つめます

10:00 今回の体験場所である「町屋蔵部」に到着。戸を開けて中に入っていると、コ-ディネ-トしてくれた NPO 町屋蔵部の高島良幸さんが登場。城下町高遠に残る由緒正しき数々の町屋。実際住むには寒くて不便という理由で、空家になっているところがたくさんあります。そのような空家はいずれ取り壊されていく運命に。「何とかこの素晴らしい町屋を残したい」そんな思いで、地元の有志で立ち上げたのが「町屋蔵部」とのことです。私たちが訪れた建物は、慶応2年(1866年)創業の酒造メーカー「仙醸」の本社事務所と住宅があったところで、改装をし、体験や宿泊ができる拠点として活用されています。

10:15 高島さんが、墨をつけた筆でだるまの顔を描く見本を見せてくれました。一生懸命見つめる子どもたち。この線は鶴で、この線は亀...という意味も教えてくれます。

さて、その後は一人ずつ筆を持ち、自由に顔を描きます。見本に、日本の各地のだるまの顔の資料を見せていただきました。地方によって様々なのです。そして、だるまの片目を入れる意味も教わりました。高学年の子どもたちは、「受験合格」「必勝」などの願い事を書いていました。だるまは子どもたちにとって珍しいようで、真剣に取り組んでいました。描いた後は、囲炉裏の周囲に並べて乾かします。囲炉裏もめずらしいようで、囲炉裏を囲んで会話が弾みます。

11:15 今度は、五平餅作りにチャレンジ。地元の方が作り方を丁寧に教えてくれます。まず、胡桃を割って、実を取り出します。胡桃を割って、中を見るのは、ほとんどの子が初めて。「どれが実なん？」と聞きながら、集中しています。次に、取り出した実を、すりばちですります。



子どもたちと同じくらい、個性的なだるまたち



お米の半殺しに奮闘するたつひこくん(小1)

そして、味噌を加え、さらにすります。飛び出さないよう、みんなで協力しながらの作業です。ご飯は地元でとれる「高遠さくら米」。最初におにぎりにして、お米の味を味わいます。それからご飯を少しつぶし、「半殺し」の状態に。「半殺し」という言葉に喜び子どもたち。「半つぶし、でいいやん。こわいわ」としゅんくん(小3)。出来れば、串にさし、囲炉裏で焼いていきます。そして先ほど作った味噌をつけて、いただきます。

13:00 お腹もいっぱいになったので、高島さんのガイドで、高遠の町を歩きます。途中、毎年だるま市が開催される鉾持(ほこじ)神社にも立ち寄りしました。ピンクや黄色のだるまを見つけて、喜んでいました。

14:30 高島さんにお礼を言い、高遠町を出発し、自然の家へ。

15:00 体育館遊びや空手道教室など、今日やってみたいプログラムを選びます。ゆうたろうくんと一緒に、もう一度病院へ。熱は36度台に下がりました。よかった!

18:00 夕食。

19:00 夕食後は、終わりの会。今回の発表のテーマは「一番楽しかったこと」と、「初めて参加したたつひこくんと、ちーちゃんにやさしくしてあげたこと」。今回は、早いうちから、このテーマで発表してもらおう、とみんなに話していました。まだ小学校に入学する前から参加してくれている二人。まだまだ小さくて、不安な気持ちがいっぱいなことをわかってほしかったからです。



五平餅を焼くため、火をおこします



ロッジの2階で、大富豪に夢中！

感想を二人に聞いてみました。ちーちゃんは「一緒に卓球してもらって、うれしかった」とのこと、たつひこくんは「お菓子、もらったかな」と少し覚えていない様子。「チョコボールあげたやろー！」「あめも！」と男の子たち。やさしくされた方も、しっかり受け止めて、お礼を言おうね！とお話しました。「発表してもらおう！」と言った途端に、やさしくなった2年生以上の子どもたち。「あかんで！」と言おうとして、「ああ...そうや。やめといた方がいいんじゃない？」と優しい口調に変わることも。意識して行動することの大切さを実感しました。お友だちを思いやる気持ちを常に持ってほしいと思います。

そして、恒例のピンゴ大会。子どもたちがスクールの中で、最も燃える瞬間です。
23:00 ようやく就寝です。

まず、「一番楽しかったこと」は、一番人気は男の子が「大富豪」、女の子が「三点倒立」。次に人気があったのは、「だるま作り」でした。そして、「たつひこくんにやさしくしてあげたこと」ですが、「お菓子をあげた」のが一番で、「注意してあげた」という意見もありました。「ちーちゃんにやさしくしてあげたこと」ですが、「一緒にお風呂に入ってあげた」「添い寝」「卓球をしてあげた」そして「バドミントンを邪魔されても、怒らなかった」など、いろいろ上がりました。



きれいに出来ました！
あおいちゃん(小4)です

4日目 またいつか会おうね！

7:00 起床。なかなか起きない子どもたち。

7:50 朝食。高学年のみんなには、シーツなど協力して持ってもらいます。いつもありがとう。部屋に帰って、お掃除です。来た時よりも、きれいになるように。

9:30 木工室へ。いつもお世話になっている北原さん夫婦の指導のもと、小物入れを作ります。デザインは、うえさんが担当しました。リモコンも入る大きさです。それぞれ、個性的な作品が出来上がりました。

12:30 昼食。

13:30 お世話になった自然の家を後にします。来た時より、ずいぶん雪が解けました。春が一步步近づいています。

14:30 アップルランド伊那にて、夕食のお買い物ゲーム。小学6年生以上700円、5年生以下600円の予算をグループに渡し、好きなものを選びます。小さいお友達は計算が難しいので、リーダーや上級生が教えてあげます。

16:15 東京組のうえさん、たつひこくん、ちーちゃんに手を振り、アルペン伊那号に乗車。いつも別れはさびしいです。時間より少し早く、桃山台と新大阪に到着。また会いましょうね！



真剣な表情で釘を打つ
みきちゃん(小2)とまゆちゃん(小3)



バイバイ！また会おうね

スクールを振り返って

今回は、「友だちを思いやる心を育て」というテーマを意識して、子どもたちにいろいろ投げかけてみました。右のミニTシャツに、小学校を卒業するだいきんとせいくんのために、お祝いのメッセージをこっそり書いてもらってプレゼントしました。大きくなっても、スクールで一緒に過ごした仲間たちのことを覚えておいてほしいなと思っています(上田)。



次回は、8月20日(月)から23日(木)に開催予定！木曽の方へ出かけてみたいと思います！ワクワクするような企画を練っていますので、乞うご期待！

